



EXCITING DUATHLON GRAND PRIX
CalfMan Japan



カーフマンジャパンデュアスロングランプリ 2006
南関東 Stage 国営昭和記念公園大会
兼
2006 年度日本学生デュアスロン選手権大会
最終要項

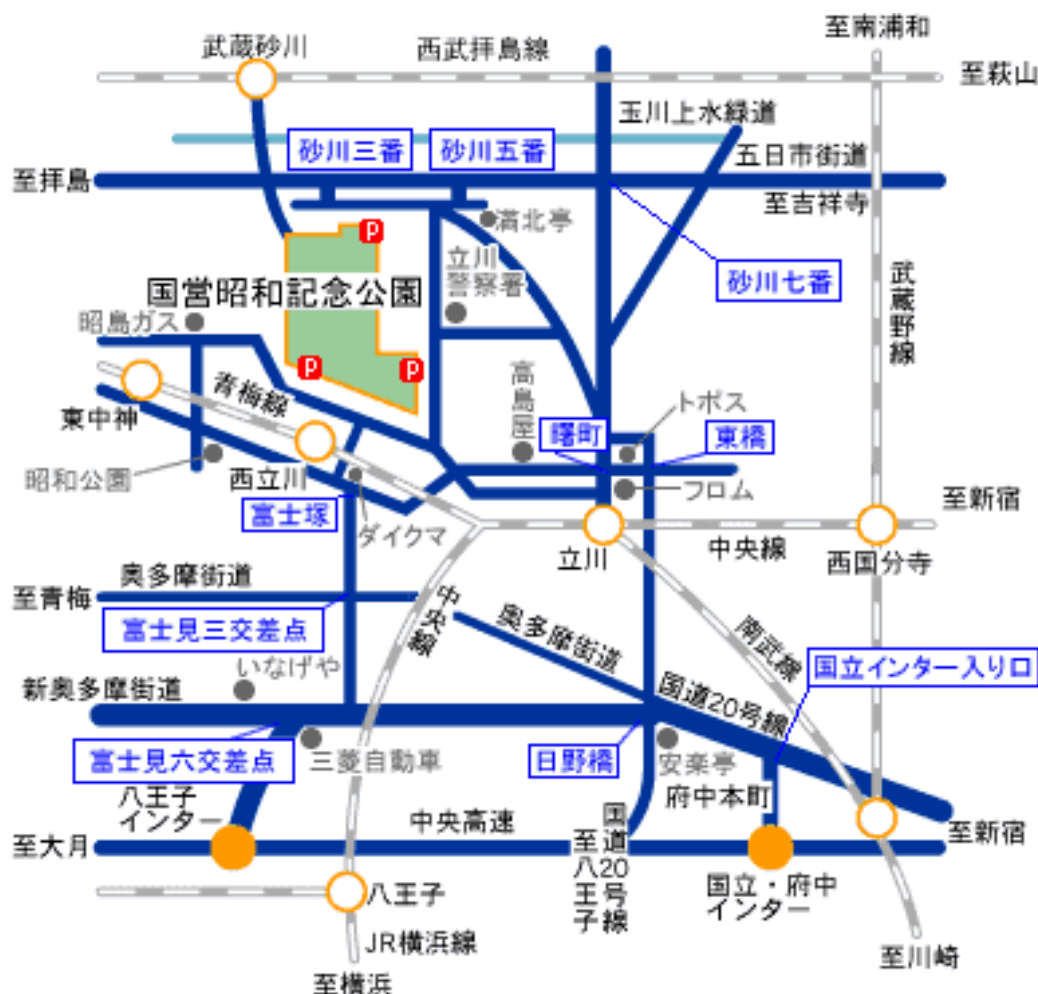


2007 年 2 月 12 日 (月) 10:30 スタート

国営昭和記念公園 (東京都立川市)

大会最終要項

主催	Calfman Japan 大会実行委員会、(社) 日本トライアスロン連合
共催	日本学生トライアスロン連合
競技主管	(社) 東京都トライアスロン連合
後援	日刊スポーツ新聞社、(財) 日本サイクリング協会
協賛	ライトウェイプロダクツジャパン(株)、江崎グリコ(株)、アキレス(株)、TYR、(株)ワコール 日本バナナ輸入組合、(株)チェリオコーポレーション、日建レンタコムグループ他
協力	SBR
企画運営	ネオシステム株式会社
開催期日	2007年2月12日(月)
開催場所	国営昭和記念公園内特設コース 〒190-8558 東京都立川市緑町 3173 JR 青梅線・西立川駅より3分



競技内容	競技種目	①エリート ②女子一般 ③チャレンジU30
		④チャレンジU40 ⑤エイジU50 ⑥エイジU60
		⑦エイジOV60 ⑧MTB男子 ⑨MTB女子
		⑩ビギナー ⑪ジュニア ⑫キッズ ⑬学生選手権男子
		⑭学生選手権女子 ⑮学生男子OPEN

競技距離

①～⑦、⑬～⑮	第1ラン5 km → バイク30 km → 第2ラン5 km
⑧、⑨	第1ラン5 km → バイク20 km → 第2ラン5 km
⑩、⑪	第1ラン2 km → バイク10 km → 第2ラン2 km
⑫	第1ラン1 km → バイク5 km → 第2ラン1 km

表彰	エリートの部	1位～6位 (学生選手も含みます)
	女子クラス	1～3位 (学生選手も含みます)
	すてきなマダム賞	40歳以上の女性の完走者
	各エイジクラス・MTB	1～3位
	ジュニア 男女別	1～3位
	ビギナー 男女別	1位
	キッズ 学年別	1～3位
	クラブ対抗 (所属クラブの合計ポイント)	1～3位
	学生選手権男子	1位～6位
	学生選手権女子	1位～3位
	学生OPEN男子	1位～3位
	学生団体戦男子	1位～3位
	学生団体戦女子	1位～3位
	MIP (パフォーマンス賞)	1～2名
	※ <u>カーフマンガランプリポイントは学生選手権選手を含めた順位で与えられます。</u>	

プリム賞	エリートクラス (含・学生選手権) でバイクコース上に設けられたプリムポイントを、2周目と5周目にトップで通過した選手にプリム賞をお送りします。
	プリム賞はカーフマンのエントリーや、スポーツアシストブース、エムスポショッピングで利用できる金券です。金額は、その前周 (1周目、4周目) の先頭集団の人数×1000円です。集団の定義は5秒以上のとぎれがなく続いた選手の集まりです。

参加賞	カーフマンオリジナルリュック (ビギナー・ジュニア・キッズは除きます) 他
-----	---------------------------------------

大会スケジュール (開催要項から一部変更になっております)

8:30～9:30	選手受付 (全クラス) (西立川ゲート外)
9:30～	選手入園
10:20～	開会式・競技説明会
10:30～	ビギナー・ジュニアクラス競技開始
10:33～	キッズクラス競技開始
11:10～	オープニングセレモニー
11:20～	女子クラス、学生選手権女子 競技開始

11:22～	チャレンジU30、U40、学生男子OPEN競技開始
11:23～	エイジU50、U60、OV60、MTBクラス競技開始
11:50頃～	ビギナー、ジュニア、キッズ表彰式
12:00～12:30	エリートクラス追加受付（運動広場本部）
13:15～	エリートクラス競技説明・オープニングセレモニー
13:30頃～	エリートクラスレース開始
15:30頃～	表彰式・閉会式
	大じゃんけん大会！

※ エリート参加者は9時30分までの受付と、12:00からの追加受付とどちらで受け付けをしていただいても構いません。ただし、9時30分までに受付をしなかった場合公園入園料は自己負担でお願いいたします。

***開会式・競技説明には全員必ず出席してください。**

（当日の諸注意は、後述の「大会当日の進行と諸注意」をよくお読みください。

－ 大会役員 －

大会会長	(社) 日本トライアスロン連合会長	猪谷 千春
大会副会長	(社) 東京都トライアスロン連合会長	北村 文俊
実行委員長	(社) 日本トライアスロン連合理事長	濱本 憲二
実行副委員長	(社) 東京都トライアスロン連合理事長	則井 克己
大会事務局	カーフマンジャパン・デュアスロングランプリ事務局	
	事務局長兼レースディレクター	ネオシステム(株) 清本 直
大会技術代表	(社) 東京都トライアスロン連合	吉野 たけし
大会審判長	(社) 東京都トライアスロン連合	宮地 由文
顧問	(社) 日本トライアスロン連合副会長	三宅 義信
	(社) 日本トライアスロン連合副会長	和田 吉民
	(社) 日本トライアスロン連合顧問	村上 尤一
	(社) 東京都トライアスロン連合副会長	名雪 雅義

大会保険について

大会保険に基づき、大会中の事故を補償します。ただし、故意、犯罪行為、麻薬などの使用、精神障害、他覚症状のない“むちうち症”または腰痛、大会直前12ヶ月以内の既往症と因果関係のある疾病による身体障害、地震、噴火、津波、戦争の他の争乱などは、対象外となります。

- ・死亡1,000万円 ・入院日額5,000円 ・通院日額2,500円
- ・賠償責任1億円 免責1万円

※ 重要

大会当日の天気予報には十分注意を払ってください。

特に気温が5度を下回ったとき、雨、風が予想される場合は、各自が防寒対策をしっかりと行いますようお願いいたします。当日の気象状況によっては、ナンバーカードが隠れてしまうようなウィンドブレーカー類の着用も許可いたしますので、十分な対策をお願いいたします。

かこそステージで降雪の中、半袖や短いバイクパンツで競技を続け、低体温症になり倒れてしまう選手が続出致しました。場合によっては、主催者勧告で競技を中止していただく場合もございますのであらかじめご了承ください。

大会当日の進行と諸注意

1.交通機関

- ①JR 青梅線・西立川駅より3分。西立川口ゲートが受付となります。
- ②駐車場（有料）は「西立川口」で326台分あります。（駐車料820円）
- ③昨年、JR西立川駅口に民間の駐車場（Times）ができました。24時間営業で1日最大700円です。
80台程度までは駐車可能ですのでご利用ください。（下図参照）



2.入門（入門ゲートはお間違えのないよう、時間に余裕を持ってお越しください。）

- ①【西立川口ゲート】にて選手受付を行います。入園及び駐車場が利用できるのは、9時30分からとなります。開門時間前に路上に行列を作らないようにお願いいたします。（今大会の出場者全員分のスペースがあります）



- ②入門口は、歩行者、及び自転車を組んでいない状態で持ち込む方は西立川駅正面の『歩行者入園口』、自転車を組んだ状態で持ち込む方は立川駅寄りの『自転車入園口』から入園ください。
- ③受付時（8：30～9：30）に「仮入園券」をお渡しいたします。その券にて入園してください。一度入園した後、一旦園外へ出ると、再入園には別途入園料が必要となります。

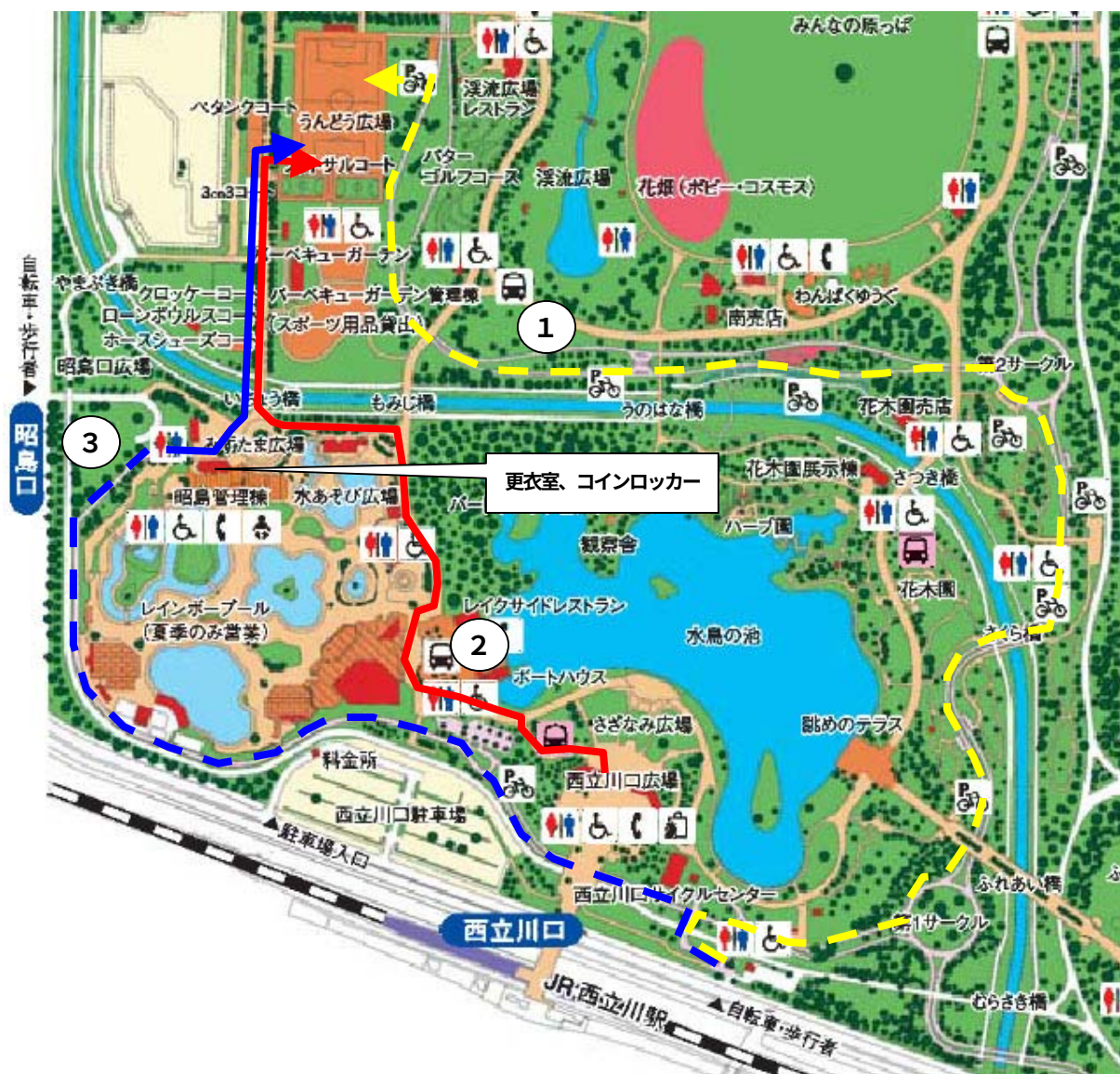
- ④今年から、自転車を押しての一般園路の歩行が不可になりました。一般園路を歩く場合は必ず前後輪をはずして歩行してください。(ルールを守れない団体には、以後公園の使用が認められなくなりますので必ずお守りください)
- ⑤自転車を組んだ状態で入園する場合は、必ず自転車入園口より入園し、サイクリング道路をお通り下さい。ただし、この場合に限り、自転車での走行が認められます。
- ⑥エリートクラス参加者で後受付(12:00~)をご希望の選手は、公園の券売機で入園券をお買い求め下さい。(10時に西立川口受付テントは撤収させていただきます。)
- ⑦同伴者の方の入園券も受付時に販売させていただきます。(大人300円、子供50円)
一般入園券よりも割安になっておりますが、数に限りがありますので先着順とさせていただきます。

【入園ルート】点線が自転車走行可、実線は前後輪をはずさないで歩くことのできない区間です。

ルート①(黄色) 運動広場脇の駐輪場まで、自転車走行が可能です。

ルート②(赤) 自転車に乗るのはもちろん、押して歩くこともできません。前後輪ははずしてください。

ルート③(青) 昭島口までは自転車走行可能です。昭島口からうんどう広場まで(約200m)は前後輪をはずして運んでください。



3.受付・誓約書の提出

- ① 誓約書未提出の方(含・インターネット申込)は、大会ホームページより誓約書を印刷して、必ず署名捺印の上、受付へご提出ください。郵送お申込者は、最終要項に同封されている誓約書に署名・捺印の上、受付へご提出ください。
- ② 未成年者は、保護者の署名・捺印がないと、出場できません。
- ③ レースナンバーは大会当日、受付にてお知らせします。(大会前、インターネットにてご確認頂けます)

【受付にて渡されるもの】

大会プログラム、レースナンバー 2 枚、バイクステッカー、ヘルメットステッカー、仮入園券、トラバグ及び参加賞、オリジナルリュック引換券 他

4.会場内(国営公園内)でのご注意

- ① 園内一般道では、自転車を伴って歩行できません。一般道を通る場合は前後輪をはずして歩行してください。(失格の対象となります。)自転車でのコース視察はできません。
- ② 競技中も、公園は一般開園中です。来園者、観客、特にお子様には十分注意し、危険のないよう十分な配慮をお願いします。
- ③ エイドステーションでの紙コップ等は、所定の場所、もしくはエイド付近に捨てるよう心掛けてください。
- ④ コースは美しい国営公園内です。ごみ等は、指定の場所に捨てるか、各自が持ち帰るようご協力をお願いします。
- ⑤ 競技中、緊急車両が通行する場合があります。その場合には速やかに道を譲ってください。
- ⑥ 昭島管理棟付設の更衣室、コインロッカー、シャワーが利用できます。昨年は置き引きの被害にあわれた選手がおりました。一人で参加する方はコインロッカーをご利用ください。(前ページ地図参照)

5.車検

車検等はいりませんが、各自で点検整備を行うほか、バイクショップ等での整備をお薦めします。会場内のメカニックサービスを受けることも可能です。メカニックサービスで消耗した部品等は実費負担となります。

6.レースナンバー(ゼッケン)

レースナンバー(ゼッケン)は、ウェアの前面・背面に取り付けてください。ナンバーシールはヘルメットの前面とバイク右側側面に貼ってください。レースナンバーは前用、背面用がございます。詳しい取り付け方は大会プログラム(当日配布)をご覧ください。

7.アンクルバンド

- ① スタート15分前になりアナウンスがありましたらスタート付近の召集テントで計測用のアンクルバンドを受け取り、足首に装着してください。アンクルバンドには、発信器が内蔵されており、固有のナンバーが登録されています。
- ② アンクルバンドは競技中ははずさないでください。
- ③ 装着後はスタートエリアでそのまま待機をお願いいたします。特に前のグループが競技中の場合は計測マット(緑色)に近づかないようにして下さい。
- ④ アンクルバンドは競技終了後、回収します。アンクルバンドの紛失、故意による破損、持ち帰りは、¥5,000 を請求させていただきます。

8.棄権の申告

棄権する方は、レースナンバーを外してからコースを離れ、大会本部に戻ってください。
そこでアンクルバンドを返却した時点で、棄権とします。

9.荒天の場合

荒天の場合は、中止、または距離、内容の変更を実行員会で決定します。中止、変更があった場合でも、参加費の返還は行いません。また、会場までの交通費の補償なども行いません。

10.総合成績表の発行

郵送にてお申込みした方、及び、郵送希望をされている方には、後日総合成績表を郵送いたします。インターネットでお申込みいただいた方は、下記のホームページで結果を閲覧・ダウンロードしてご覧ください。

カーフマンジャパン公式ホームページ	http://www.calfman.jp
エムスポ(MSPO) ホームページ	http://www.mspo.jp

11.給湯サービス

会場のうんどう広場で給湯のサービスを行います。参加賞で配られるカップ麺のほか、各自持ち込みのスープ、コーヒーなどにもお使いください。

12.当日参加、当日払い

当日参加も受け付け致しますが、極力連絡の上ご参加ください。金曜日までに参加表明、エントリー費当日払いは、参加費500円増し、当日参加表明、当日払いは、参加費1000円増しとなります。

参加希望のご友人など、お誘いあわせの上ご参加ください。

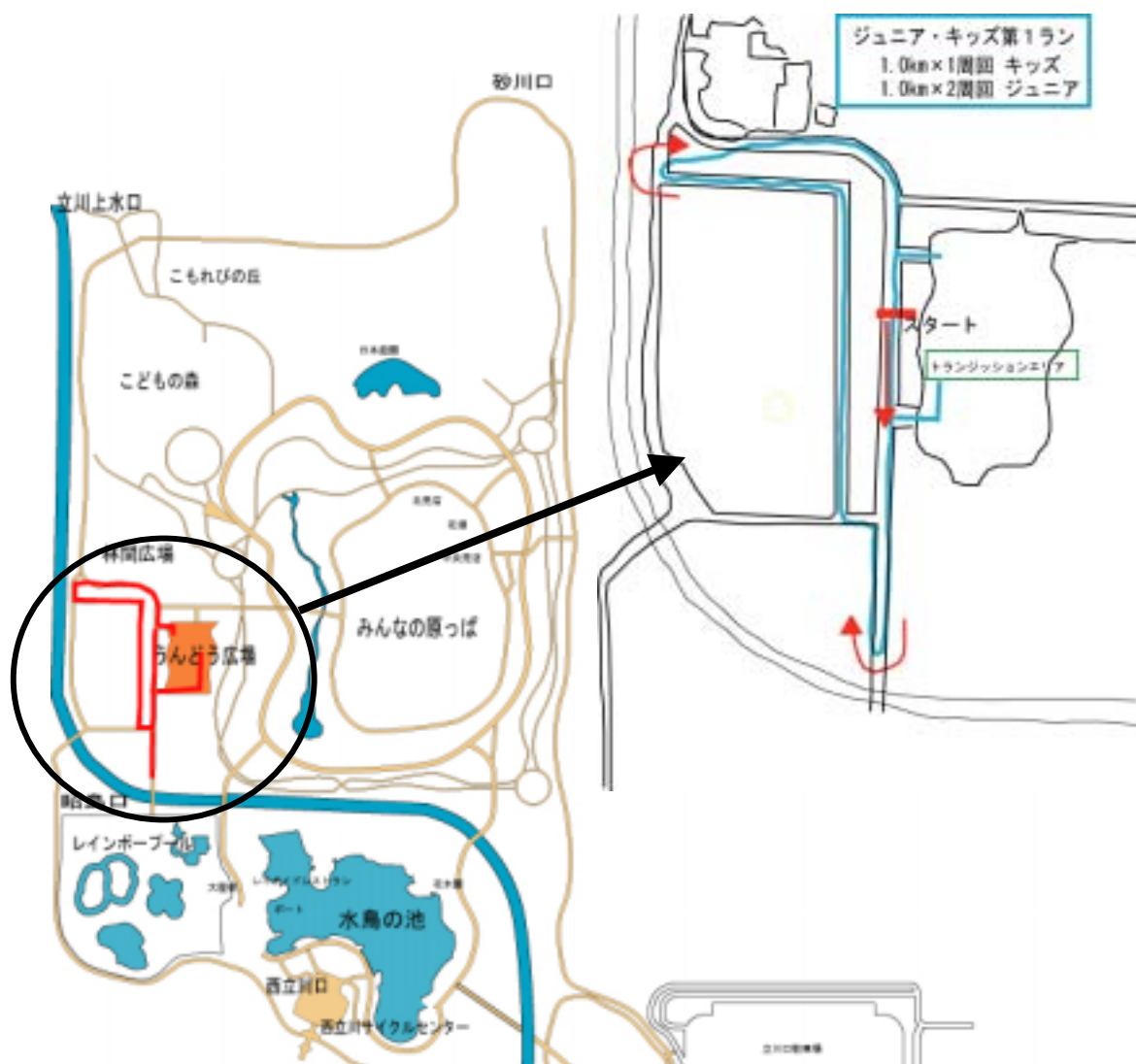
但し、当日参加枠に制限がありますので、早いもの順にご案内させていただきます。参加表明は極力お早めにお申し出下さい。

13.防寒対策

2月の開催時期ということもあり、天候によっては大変寒いことが予想されます。長袖のウェア、裾の長いタイツ、手袋、ウィンドブレーカーなどの防寒着は必ずお持ちください。

14.お問い合わせ・ご連絡先

〒206-0802 東京都稲城市東長沼 2120-6 グラン・ヴェルジェ 104
TEL 042-379-5201 (受付時間 月～金 10:00～17:00)
受付時間外における緊急のご連絡、および大会前日・当日のご連絡は
TEL 090-8742-2983 までお願い致します。



第1ランコース
 (ビギナー・ジュニア・キッズ・エリート・学生選手権男子)
 運動広場周辺の1周1 kmの周回コース。
 キッズは1周、ビギナー・ジュニアは2周回、エリート5周回

エリート・学生選手権男子の第2ランも同じコースになります。

第1ランコース

(女子、学生女子、チャレンジ、エイジ、MTB、学生男子OPEN)

1周5 kmのバイクコースをそのまま1周。

遅い選手は左側通行を心がけてください。右側を自転車が追い抜きます。





バイクコース

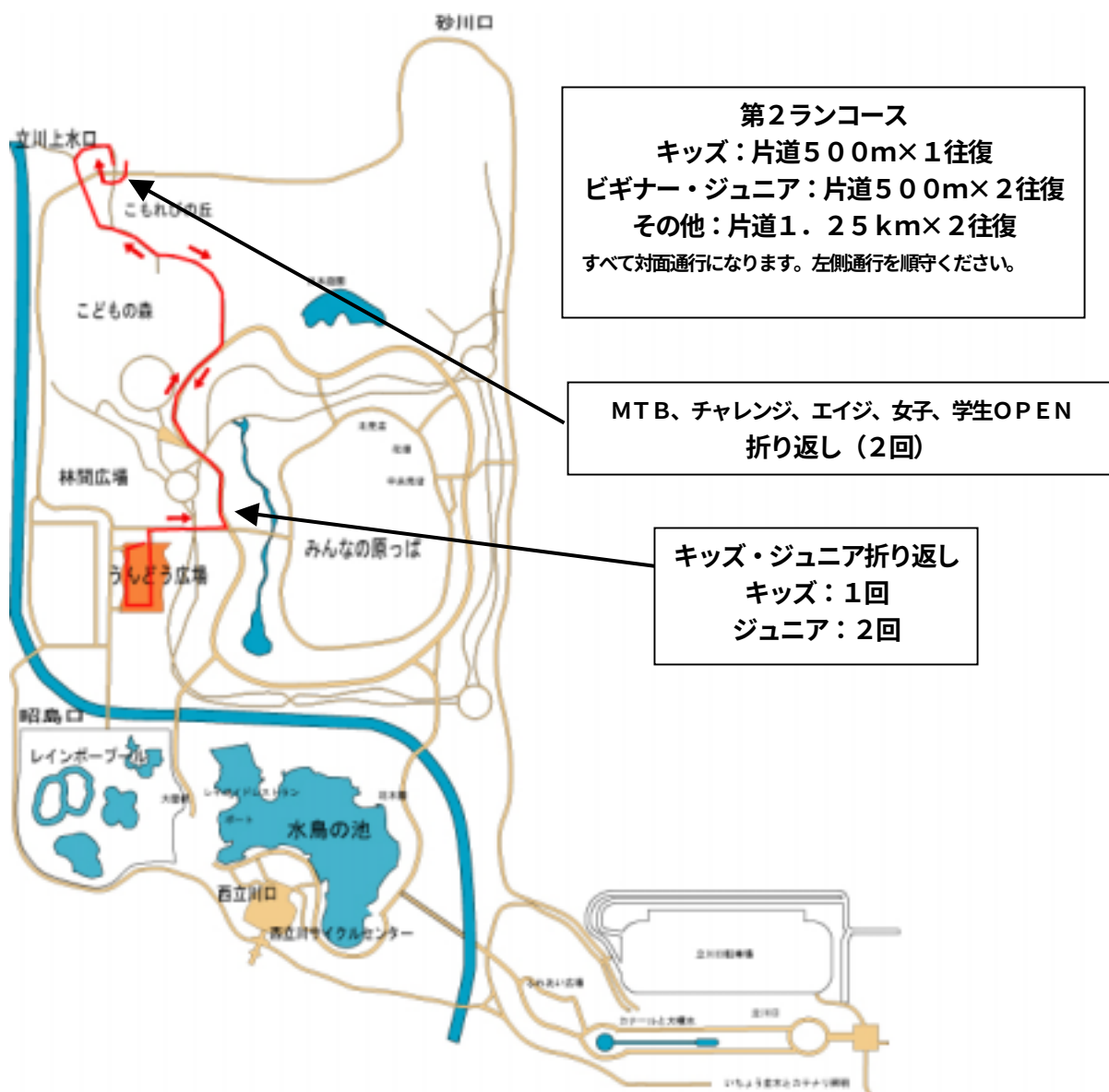
キッズ : 1周
 ジュニア : 2周
 ビギナー : 2周
 MTB : 4周
 その他すべて : 6周

各自で周回管理願います。

機械によるカウントも行っております。

コース内にエイドステーションはございません。

特に1周目は、ランの選手が残っている場合がありますので充分注意して走行ください。



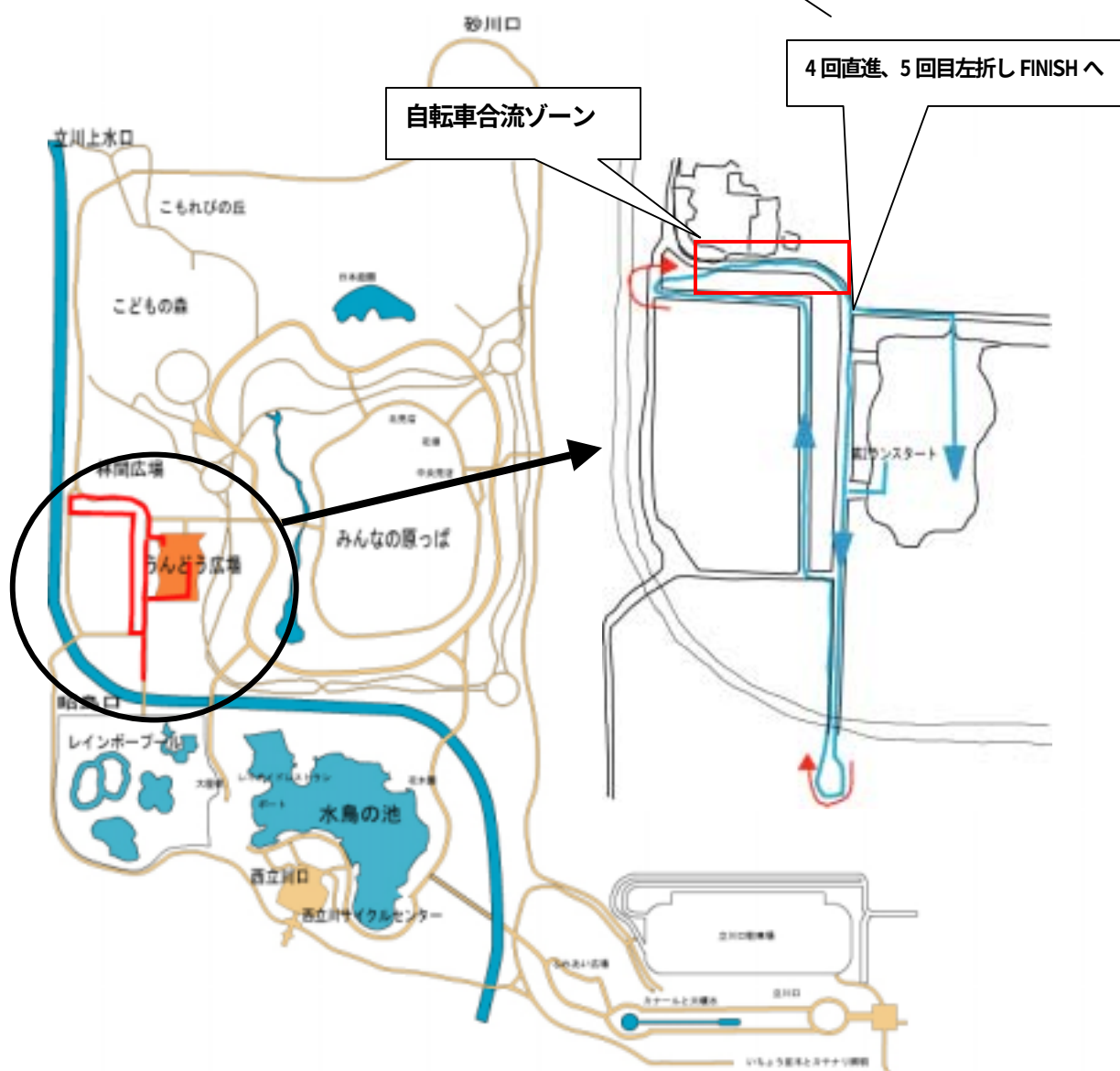
運動広場～玉川上水口折り返し地点を2往復致します。

多くの一般来園者が散歩を楽しんでいるコースですので、走路を守り、充分に注意してください。

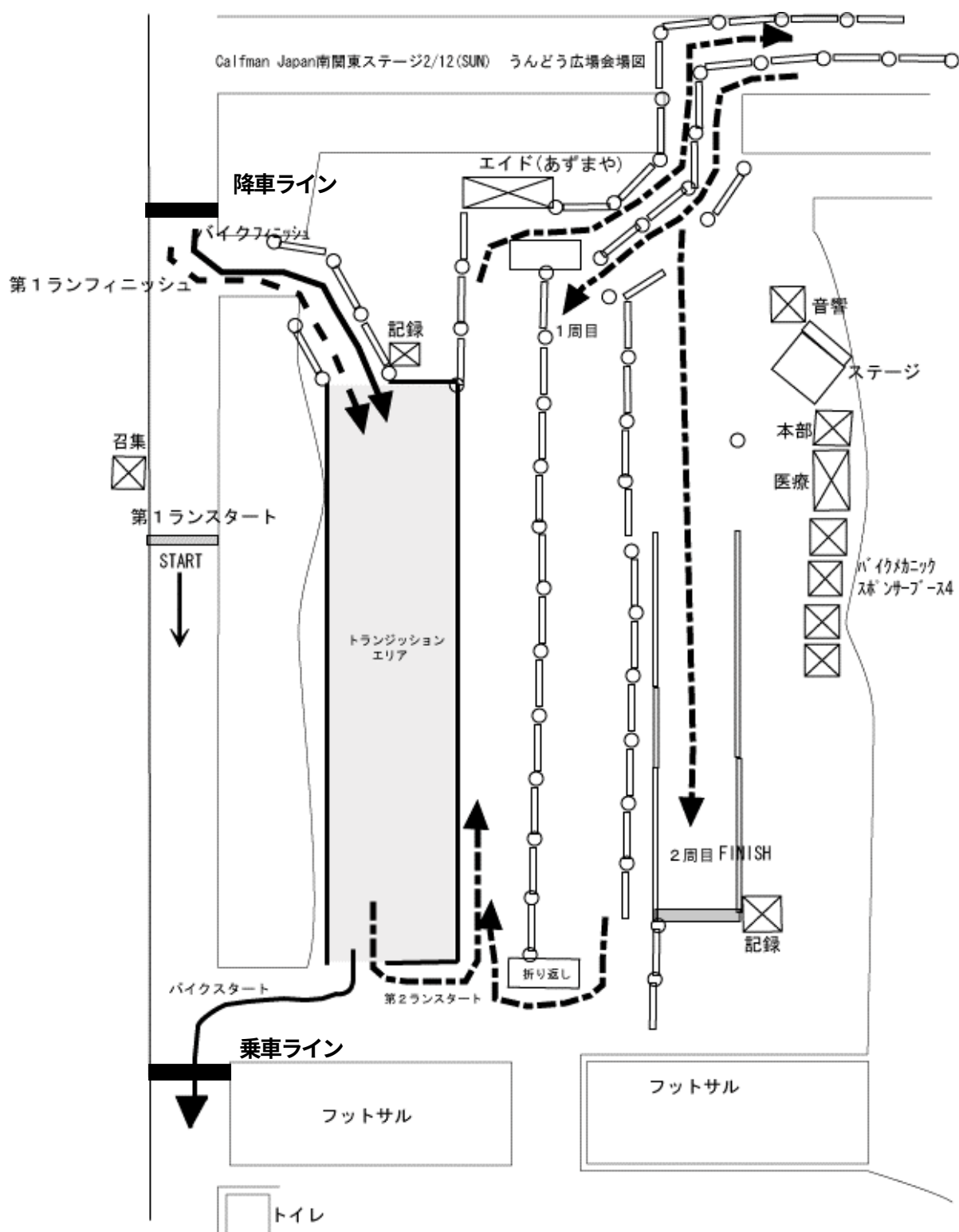
途中他の選手とすれ違いますので、左側通行（キープレフト）を順守してください。

運動広場側折り返し地点にエイドステーションを用意しております。

エリート・学生選手権男子、第2ランコース



自転車合流ゾーンで、トップ集団のラン1周目と、後続のバイクフィニッシュが重なることが予想されます。
ランは道路の右側を、バイクは左側走行を心がけ下さい。



デュアスロンの競技規則について

(JTU 競技規則よりラン及びバイク部分抜粋)

□競技者の心得

- 1 大会は予測できないことの連続である。風、暑さ寒さ、観客や車の飛び出し、見えなくぼみ。危険を察知し、適切な判断で競技する。
- 2 日頃の練習と健康管理。早めの水分補給。マイペース。リタイアの勇気を持つ。
- 3 ドラフトゾーンやトランジション・スペースなど「競技スペース」を守る。

□競技について

- 1 競技は車の運転と同じ＝競技者は運転手。審判員は警察官。車間距離とキープレフト。追越し車線。悪路や渋滞での減速。徐行と加速、ゆずりあいの精神で安全運転。

□ウェアと用具

- 1 バイクでは、規定のヘルメットと用具。ランではシューズを着用。
- 2 レースナンバーは、四隅を留める。全面が見えるよう気を配る。折り曲げ、変造は禁止。ナンバーベルト使用では、レースナンバーが極端に下にならないよう配慮。
- 3 サングラスは、透明度の高いものがよい。総合フィニッシュでは、サングラスをはずす。
- 4 音響・通信機器の使用は禁止。

□スムーズな競技とリタイア

- 1 危険・妨害行為は禁止。相手の優先コースを判断し、スムーズで安全な流れを守る。
- 2 リタイアは、スタッフに伝え、大会本部にも連絡する。

□トランジションエリア

- 1 競技コースの一部。エリア内は乗車禁止。ペダル片足走行も禁止。
- 2 ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締める。フィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外す。
- 3 前輪の先端が、「乗車ラインを越えてから乗る」「降車ラインを越える前に降りる」。

□バイク（自転車）

- 1 バイクは体に合ったもの。
- 2 ヘルメットを深くかぶり、ストラップをあごにかかるように締める。
- 3 規制されたコースでも、交通規則を守る。表示板、コーン、大会フタッフ、競技役員の指示に従い競技する。
- 4 《前方注意・車間距離の確保》は、重要な義務。転倒や急ブレーキ、相手の動きに注意。エアロバーでは、視界が狭まりブレーキが遅れる。
- 5 キープレフト：左側走行（左端から1m、コース幅の左側1/3以内基準）で競技する。コース右側は追い抜きスペース。
- 6 追い越しは、後ろを確認し、前走者の右側から。センター寄りの走者には注意を与える。不安があれば「一声掛けて追い越す」と効果的。

7 ドラフティング走行・集団走行・併走は禁止。

<ドラフティングルール>

- 1 ドラフティングは、前走者や車の後ろを風よけにして、楽に走ろうとすること。競技者は、他競技者からのドラフティング走行違反を拒否することができる。
- 2 ドラフトゾーンはバイクの前輪の最前部を基点として、後方7m、横幅3m（前輪を中心として左右それぞれ1.5m）の内側とする。追い抜き時間は15秒以内。車からは35m以上離れる。
- 3 エリート、一般とも2台半から3台分の車間距離をあける。
- 4 ドラフトゾーンへ入れるのは、15秒(共通)以内に追越せるとき。そして減速が必要なエイドステーション付近、トランジション出入り口、折り返し地点。

<バイク追越しの決まり>

- 1 追い越しを行うときは、周囲の競技者に一声かけて追い越しを行うことを推奨する。
- 2 追い越し中は、《追い抜く意志を持って、前進している》ように見えなければいけない。ピッタリと接近し、静止しているように見えると、規定タイム内でも警告を受ける。
- 3 前輪先端が、先行する前輪の先端よりも前に出たときに「追い越した」と見なす。
- 4 追い越した競技者は、追い越すときの速度を持続させ、追い越された競技者の前輪の最前部から7m以上引き離してから、緩やかにキープレフト走行に入るものとし、キープレフト走行に入る前に速度を緩めてはならない。
- 5 追い越された競技者は追い越された瞬間から加速を止め、15秒以内に追い越した競技者の前輪の最前部から後方7m以上離れてドラフトゾーンから脱しなければならない。

□ラン（ランニング）

- 1 第1ラン、第2ラン共にキープレフト（左側）で走る。マイペースで、一休みもできる。
- 2 追越しは前走者の右側から。
- 3 同伴／伴走フィニッシュは、禁止です。

□エイドステーション

- 1 スタッフは、止まって渡し、走らない。競技者が注意して受け取る。
- 2 エイドステーション以外での支援は禁止。
- 3 水、CCDドリンク、バナナが用意されております。

エリートクラス・学生選手権男子 ハンドル規定

エリートクラス、学生選手権男子は、ドラフティング走行許可大会となります。
DHハンドルに規定がございますので、各自、規定に沿ったハンドルを装着願います。
なお、規定に反した自転車での参加は認められませんのでご注意ください。
エアロバーは装着しなければならないものではありません。

自転車での周回遅れはDNF扱いとなり、その時点でレースの継続はできません。

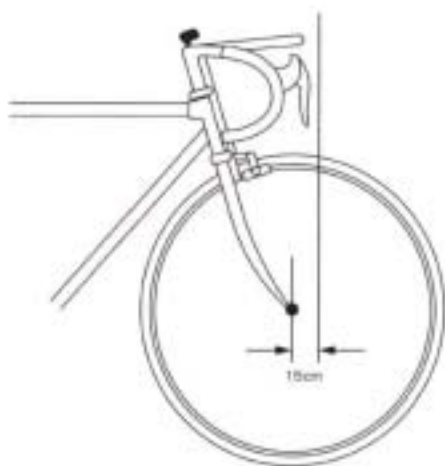
第8章 バイク（自転車）

（エアロバー）

第100条 ドラフティングレースにおけるエアロバーは、次の各号に掲げる条件を満たさなければならない。

- （1）エアロバーの先端は、前輪ハブ軸より15cm以上、前方に出てはならない。

（図A）

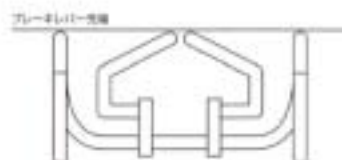


- （2）エアロバーの先端は、左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出てはならない。

—49—

第9章 バイク（自転車）

（図B）



- （3）エアロバーの先端部分が前方に向いている場合は、先端を連結しなければならない。

（図C）



- （4）エアロバーの先端部分にシフトレバーなど突起した部品を装着してはならない。

—50—